

令和七年度和歌山工業高等専門学校 卒業証書・修了証書・学位記授与式での式辞

少しずつ暖かくなり春らしさを感じられる頃となりました、この良き日に、令和七年度和歌山工業高等専門学校 卒業証書・修了証書・学位記授与式を挙げることは、本校にとりまして大きな喜びでございます。

本日、卒業を迎える本科 165 名の皆さん、修了を迎える専攻科 20 名の皆さん、すべての教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、お子様が入学以来、立派に成長され、お喜びがつきないことと存じます。また、今日までの本校に対するご協力につきまして深く感謝申し上げます。

また、三浦御坊市長をはじめ御来賓の皆様におかれましては、貴重なお時間を頂戴し、卒業式・修了式にご臨席を賜りまして心から感謝いたします。さらに、日々、本校に対し多大なるご支援をいただいておりますことに重ねて厚く御礼申し上げます。

和歌山高専は豊かな歴史と伝統を有する御坊市に創立されて以来、8680 名の優れた卒業生を輩出してまいりました。この間、本校を卒業・修了した先輩方は産業界等で活躍され、企業等から高い評価がなされています。この誇らしい実績に加え、新たに就職や進学をする皆さんは、限らない向上心により勉学・研究を続け、本校での学びを見事に達成したため、多くの企業や大学などからはより強い期待が寄せられています。

卒業される皆さんは、企業への就職、本校専攻科や大学・大学院への進学など、それぞれ素晴らしい道を新たに進めますが、今までの学びにより得られた幅広い実践的な知識・技術力を如何なく発揮していただきたいと思えます。特に、AIをはじめとする科学技術の進歩が著しく、経済事情や国際情勢も大きく変化しているなか、高い技術力を有する高専卒業生はますます必要とされています。さて本校の地元で開発が進む民間ロケット「カイロス」は、これまでに複数回の打ち上げに挑みましたが、いずれも飛行が中断される結果となりました。しかし、同社の豊田正和（トヨタ マサカズ）社長は、一貫して「失敗ではなく、ノウハウ・経験を蓄積する前進である」と捉え、今までの状況を分析して挑戦し続けるといいます。私はこのような「不撓不屈の精神」をもって挑み続ければ、必ずや成功に至ると確信しています。米国の実業家であるイーロン・マスク氏が率いる SpaceX でも「スターシップ」の開発において、試験飛行を何回も繰り返し、技術を刷新し、2025 年にはロケットの打ち上げから着水までの一連のミッションに成功を収めています。これは、まさに積極的な姿勢で技術者一人ひとりが臨んだからです。皆さんも今後、それぞれの道で困難な課題に直面することもあると思えます。その時には、「技術者」としての自覚と誇りを胸に、雄々しく挑戦し続けてください。本校で最先端の学びをされた皆さんであれば、必ずやそれを克服し、未来を切り拓いていけると信じています。そして、地元をはじめ、日本全国、さらには世界を舞台にイノベーションを起こし、優れたエンジニアとして活躍し社会をリードする人材となってください。

留学生の皆さんは、祖国の期待を受け、強い使命感・高い志をもって、言葉や文化などの違いを乗り越え、本校で意欲的な取組みをされました。今後は、修得した知識・技術力を基に、新たな任地において活躍してください。そして、是非とも母国と日本の友好親善に努めていただきたいと思えます。

学校生活を通して得られた友人や先生との絆は生涯にわたり貴重な財産です。教職員一同、これからも皆さん全員を支援してまいりますので、本校をベースキャンプとして、先輩と同様に自信をもって大いに羽ばたいてください。

最後になりますが、皆さんが、この晴れやかな卒業・修了の日を迎えることができたのは、ご家族、先生、友人、地域の方々など多くの人達の心温まる支えがあったからです。このことを覚えて、感謝の気持ちを持ち続けてください。

そして、今後の、卒業生・修了生の皆さんの益々のご健勝を祈念するとともに、就職先・進学先で素晴らしいご活躍をされますように期待申し上げ、式辞といたします。

令和八年三月十四日

和歌山工業高等専門学校長 井上 示恩